

流れ藻・モジャコ観測速報

鹿児島大学水産学部水圏科学分野

20220315

観測期間:2022年2月11日~22日

観測船:くろしお

観測海域:黒潮域・北部薩南海域

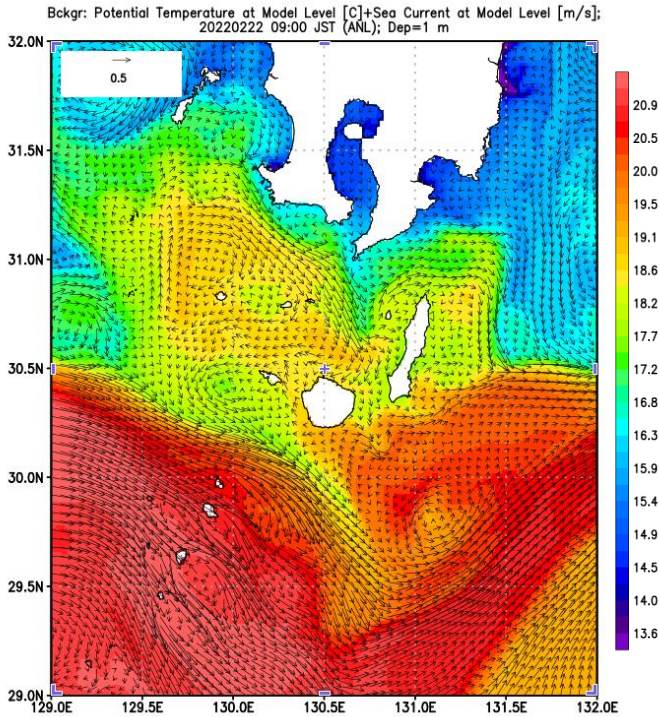


図1. 鹿児島大学工学部によって運用されている高分解能海洋モデル(DR_E)における流れ(矢印)および海表面水温(赤~青)の2月22日の結果(ホームページより引用).

解説

鹿児島大学水産学部・鹿児島県水産技術開発センターでは、薩南海域へ来遊する流れ藻に随伴するモジャコの漁獲予測を目指した研究を行っている。モジャコ業の漁期前・漁期中において、流れ藻に随伴するモジャコの情報漁業者に提供するため、鹿児島県水産技術開発センター調査船により、黒潮域および北部薩南海域の流れ藻観測とモジャコ採取を2月11日~2月22日に実施した。

トカラ海域で発見された流れ藻にはモジャコが随伴しており、これらの魚体測定を行った。全長では60mm、体重では1.5gに最頻値が認められたが、より大型の個体も認められた。今後、3月17日~23日、3月26日~28日にも同様な流れ藻観測を行う予定である。

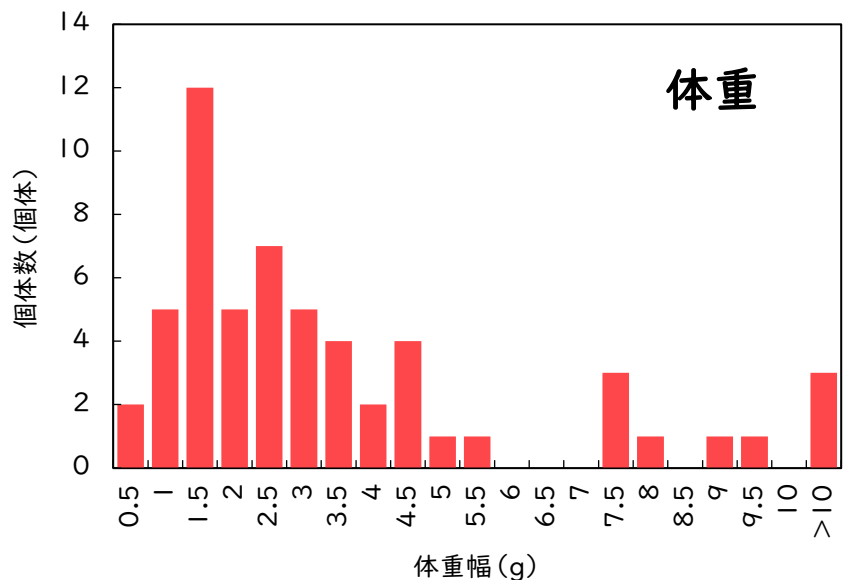
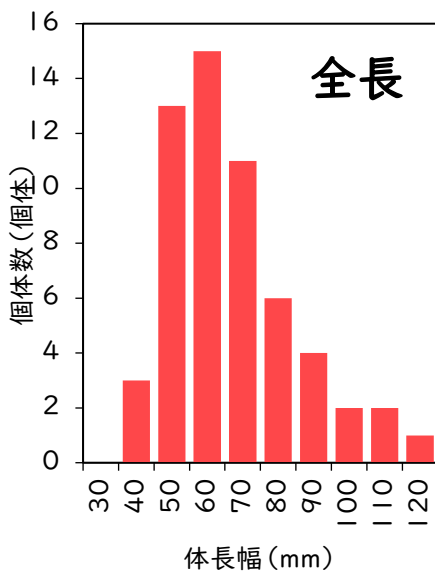


図2. モジャコの魚体測定(全長および体重の測定)結果. 57個体を測定した. 小型個体に最頻値が認められるが、大型個体も混じっていた.